



<報道関係各位>

2014年4月22日  
一般社団法人 日本化学工業協会

LRI(長期自主研究活動)関連の2冊子  
**ICCA「グローバル研究戦略 21世紀における化学物質安全性評価の推進」、  
日本化学工業協会「LRI アニュアルレポート 2013」を発行**

拝啓 春暖の候、報道関係の皆様方におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

国際化学工業協会協議会(会長: Kurt Bock BASF 会長 以下、ICCA)は5年毎に、化学物質が人の健康や環境に及ぼす影響に関する長期自主研究活動(LRI: Long-range Research Initiative)の全体戦略を見直し、グローバル研究戦略(GRS: Global Research Strategy)を策定・公表しており、今般、一般社団法人 日本化学工業協会(会長: 高橋恭平 昭和電工株式会社 会長 以下、日化協)にて和訳版(A4変型判、18頁)を発行しました。

また、日化協は日化協のLRIにおける年間の活動をまとめた「Annual Report 2013(アニュアルレポート 2013: A4判、34頁)」を刊行いたしました。

ICCAのLRIは、「社会のニーズ」や「社会情勢」に応じて活動の方向性を適宜見直し、それぞれの地域性を尊重する原則の下、日・米・欧の3協会が活動を展開しています。

この度策定したGRSの特色は、①中東、アジア、南米、アフリカ地域での化学産業の発展に触れた点、②日・米・欧の化学品管理関連法規を意識した課題を抽出した点、③日常的な化学品のばく露を重視した点、が挙げられます。本冊子にはLRI活動の背景、これまでの活動実績等に加え、ICCAとして優先的に取り組むべき研究領域、およびそれに基づく日・米・欧それぞれのポートフォリオ等も詳細に説明されています。

一方、日化協は2012年度より、それまでのLRI活動を抜本的に見直し、「社会のニーズへの対応」や「業界が抱える喫緊の課題解決」に主眼を置き、採択テーマも指定課題と公募課題に区分した『新LRI』をスタートしております。本レポートでは、『新LRI』の概要や今後の取り組み方針を紹介するとともに、新LRIの第1期(2012年11月から2013年10月)に実施された指定課題5件、公募課題9件の研究概要ならびに成果を報告しています。

つきましては、両レポートをご覧いただき、化学産業の自主的な活動であるLRIについてご理解賜れば幸甚に存じます。

敬具

Global Research Strategy 掲載内容

1. LRIの使命
2. 化学産業が抱えるグローバルな課題
3. グローバルな研究戦略
4. 優先研究領域
5. グローバルな研究ポートフォリオ
6. 普及活動とコミュニケーション
7. ガバナンス

Annual Report 2013 掲載内容

1. LRIについて
2. 研究報告会
3. 新LRIの今後
4. 出資会員企業
5. 第1期新LRI成果報告書(概要)

日化協 新LRIについて

『新LRI』では具体的に取り組む分野を、①新規リスク評価手法の開発・評価、②ナノマテリアルを含む、新規化学物質の安全性研究、③小児、高齢者、遺伝子疾患などにおける化学物質の影響に関する研究、④生態・環境への影響評価、⑤その他、緊急対応が必要とされる課題の5つに設定した。第1期の委託研究課題として指定課題を5件、公募課題は応募61件の中から9件を採択し、2012年11月より委託研究を開始した。なお、第2期は第1期からの継続案件12件に加え、新たに指定課題3件、公募課題は応募39件の中から5件を採択し、2013年11月より2015年2月までの間の委託研究を開始した。

<<本件に関するお問い合わせ先>>

一般社団法人 日本化学工業協会 広報部 鎌田・高水 TEL:03-3297-2555